

続・ウソかホントか？ 税務調査の舞台裏

Index

- Q1 税務調査を受ける会社はどのように決まるの？
 - Q2 調査日数は会社ごとに違うの？
 - Q3 経営者は税務調査中、何をするの？
 - Q4 調査官は税務調査中、何を見ているの？
 - Q5 社歴の浅い会社には、
税務調査が入らないって本当？
 - Q6 調査官によって調査の結果が
左右されることはあるの？
 - Q7 前回調査と指摘が変わることってあるの？
 - Q8 税務調査対策としてワンポイントアドバイスを！
-

税務調査は怖い、嫌だ。こう考える経営者は少なくないでしょう。調査官がいきなり会社にやって来て、事細かに帳簿などを調べ上げ、多額の税金を追加で支払わされるといったイメージがあるかもしれないからです。

税務調査についてはさまざまな臆測が飛び交いますが、その実態はよく知られていません。そこで本稿では、現役税理士に覆面インタビューを実施し、普段はなかなか聞くことのできない税務調査の舞台裏を探りました。

Q1 税務調査を受ける会社はどのように決まるの？

税務調査は、基本的にどんな会社にもやって来ます。ただ、長期間（7年以上）税務調査に入られていない会社や、直近3～5年の決算書類について比較・分析を行った上で、数値の動きに異常が見られる会社は、調査の対象となりやすいようです。

また、国税局・税務署側も毎年テーマを持って調査を行っているケースが散見されます。例えば、2017年は、仮想通貨に関する所得の増加が激しい年でした。会社の帳簿を見る中で、仮想通貨に関する項目がある会社などは、調査の対象となりやすいかもしれません。

他にも、売上が急激に伸びている会社なども目につきやすいでしょう。

Q2 調査日数は会社ごとに違うの？

調査日数は会社ごとに異なり、1日で終わる調査もあれば、5日以上続く調査もあります。大体2～3日の調査が多いようです。

調査日数は、会社の規模（売上高や資産規模など）、業種業態、同時に行われる調査税目など、さまざまな要因で決定されます。そのため、前回の調査が1日で終わったからといって、次回も同じ調査日数だとは限りません。

Q3 経営者は税務調査中、何をするの？

税務調査の対応は、基本的には税理士および自社の税務責任者が行います。経営者が調査官と話をするシーンとしては、通常、調査の冒頭で行われる会社概要の説明時（スケジュールの調整は可能）となります。知っておいてもらいたいのは、この会話の中においても、調査官は目を光らせているということです。趣味の話や世間話などをして場の雰囲気や和らげ、経営者を油断させるのも、調査官の調査手法の1つです。例えば、週末の過ごし方を聞く中で、経営者のプライベートな趣味やその頻度などを把握し、個人資産（別荘やクルーザーなど）を会社の資産として計上していないかなどの判断材料とすることもあります。

サンプルレポート

本レポートは、サクセスネットで公開している
ビジネスレポートの一部を公開したサンプルです。
サクセスネットサイトにログインした後、全文を
閲覧することができます。